主なご意見（発言の一部を抜粋しております）【谷原地区　令和8年8月2日開催】

番号	要望・課題	内容	市民懇談会での回答	その後の対応 （令和8年9月末現在）
1	藻刈の将来について	7月下旬に地区の藻刈が終わったが、昔とは夏の暑さが違い、対策はしていても非常に大変な作業だった。高齢化や夏の暑さのため、地区によっては実施している地区としていない地区がある。福岡堰土地改良区の管轄と理解しているが、市としても、自然環境保護を含めて、将来的に藻刈をどのように対策していくのか考えを伺いたい。	（市長） 私も藻刈を行ったが、7月の藻刈は危険と感じた。涼しい日や朝夕に行うなど対策ができると思う。このままでは、藻刈を行わない地区が増えてしまうので、市全体の問題として捉え、市民経済部と福岡堰土地改良区で協議の場を持とうと思っている。	（産業経済課） 福岡堰土地改良区と協議（10/1）を行う。基幹産業を農業とする本市に置いて農業農村の自然環境の保護は非常に重要なことと認識している。暑さ対策等につきましては実施時間を見直すなどした対応が必要になると考えているが、自然環境の保護については、農業者だけではなく地域が一丸となって取り組んでいく必要があると考えており、多面的機能支払交付金事業を今後も推進し、より一層の活用を促していくこととする。
2	谷和原中学校の閉校後の活用について	みらい平地区の新設中学校の開校に伴い、谷和原中学校が閉校する。その後、谷和原小学校の大規模改修工事に伴う、仮校舎として利用されると聞いているが、その後は、市民が利用できるような方法で、有効活用してほしい。市はどのように考えているか伺いたい。	（教育部長） 令和10年度から谷和原小学校の改修に伴う、仮校舎として利用する。その後の利用方法は、今後、検討していきたい。 （市長） 谷和原中学校の跡地利用について、複数の民間企業から話があるが、民間企業に売却しないように、なるべく地元住民に喜んで利用してもらえるような方法にしていきたいと考えている。	
3	災害時の体制と生活用水の確保について	熊本県では、先日の地震により大変な思いをしている。つくばみらい市が被災したときに自助、共助、公助にそれぞれの役割があると思っている。中でも、自助については、世帯単位では難しいので、自主防災組織が必要と思っている。市により平時から自主防災組織の啓発をしていけば、被災時の市民の行動が変わってくると思う。また、被災すると、飲用水はよく支援されるが、生活用水を確保することが難しくなる。そのため、各地区に災害用の井戸を掘削して備えるのは、いかがか。	（市長） 今回の熊本県の地震を見て、避難所生活は非常に厳しいと思っている。あまり情報が流れてこないが、つくばみらい市では、数に限りがあるが、段ボールベッド、エアーマット、間仕切りテントを準備しており、避難所設営時に使用できるようにしている。 水の問題は、市内で井戸を所有している人に市に登録してもらい、災害時にその井戸水を生活用水として市民に提供できるようにしている。 また、電気については、避難所には、非常用電源を備えているほか、太陽光発電や蓄電池という取り組みを増やしていけるのではと考えている。	
4	子どもの国際交流できる環境について	つくばみらい市は英語教育に力を入れており、非常に重要と思っているが、国際交流の環境がまだまだ足りないと思っている。国際交流協会のような組織を設立して、さまざまな外国の人との文化交流やスポーツ交流によって、子どもたちが外国の方とふれあう機会が必要と思っている。	（市長） 友好都市は地域推進課が担当している。現在、台湾の桃園市やフィリピンのカルカル市と友好都市協定を締結しており、さらに他の都市と締結できたらと考えている。友好都市が増えることで、子どもたちの国際交流が盛んになるのではと期待している。同様の意見を多くいただいているので、組織づくりを含めて進めていきたいと考えている。	

主なご意見（発言の一部を抜粋しております）【谷原地区　令和8年8月2日開催】

番号	要望・課題	内容	市民懇談会での回答	その後の対応 （令和8年9月末現在）
5	谷和原武道館の施設更新について	谷和原武道館は、老朽化により床から釘が出ていたり、破損をテープで補修していたりする。トイレは、和式のため、使用しづらい。 また、エアコンが設置されておらず、壁に断熱材が入っていないため、夏は暑く扇風機を持参して対策し、冬は寒い。以前、利用団体の話し合いでは、「受益者負担でも構わないので設置してほしい」という意見が多かったため、スポーツ協会に何度も依頼したが、実現していない。 谷和原中学校に武道館は無く、授業は、谷和原武道館で行われている。剣道の先生の話では、谷和原武道館の床は良くできていて弾力があるため、人が動くと釘が出てきてしまう。教育委員会が釘を叩くなどの応急処置をしたが、人が動くと、また釘が出てきてしまう。板もはがれてきており、過去には、怪我をした人もいる。	（市長） まずは、現地確認をしたいと思う。教育委員会は、和式トイレや床の釘について報告を受けているのか。 （教育部長） 担当課と利用者の意見交換を実施しており、要望は把握している。床の状態については、改めて確認をしたい。5月に現地確認を行ったときは、扇風機を使用していた。利用者は承知しているんだろうというようにも聞いたが、夏場を考えると検討したいと思っている。 （市長） 予算措置が伴うため、検討させてもらう。	